

対象	<ul style="list-style-type: none"> ・ゼロカーボンに取り組む必要がある自治体職員 ・ゼロカーボンに取り組む意欲のある地域の事業者 など
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地域脱炭素に取り組むためには、多様な主体の連携が欠かせない。しかし、実際にどこから/何から取り組んだらよいかは、地域の実情や、議論をするメンバーの立場によって異なるため、「自分たちの地域において、“脱炭素”はどのような意味を持つのか」を一緒に考え、共通の理解を持つ
日時	

タイトル	私の町のゼロカーボンを考えるワークショップ(仮)
------	--------------------------

時間	LAP	目的	担当	内容	備考
	5	イントロ	主催者	進め方の説明 ・ディスカッションのテーマ説明 ・グループ分け、ファシリテーター確認	
	5	自己紹介	ファシリテーター	グループ参加者紹介 ・一人ひとこと自己紹介 ※1グループ5名以下に設定	
	30	ワーク① “地域脱炭素”によって自分たちにもたらされる影響を想起する		ワーク① もしも突然、化石燃料が使えなくなったら？ ・ワークシートを提供、各自で考える(5分) ・共有(25分) 【ワークシート1】 ・自分たちの地域で、一番影響を受ける人・組織・セクターは？ ※影響を受けない存在はいない前提で ▶誰が困るか？ ▶その人たちは、どうして困る？ ▶対応策は？	
	30	ワーク② 地域脱炭素のために必要なアクションを考える		ワーク② 地域脱炭素実現のために必要なこととは？ ・ワーク①の共有を受けて、各自で考える(5分) ・共有(25分) 【ワークシート2】 ▶進めるために必要なこと/課題は？ ー人材 ー仕組み ー技術 ー機運 ー資金 ーその他	
	15	まとめ	ファシリテーター or 参加者	ディスカッションの報告 ・ファシリテーターorグループ代表者から、どのような議論があったかを報告	
	5	クロージング	主催者	・議論の結果を受けて、ネクストアクションなどをアナウンス	